

競技注意事項

1. 競技規則について

- ① 本大会は2023年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告及び展示物に関する規程及び本大会申し合わせ事項を適用する。
- ② グランプリ種目はWA 競技規則及び国内広告規程により実施する。
- ③ 小学生についてはTR5.2を適用しない。

2. 招集について

- ① アスリートビブス並びに腰ナンバー標識は配付されたものを使用すること。
- ② 招集所は第1ゲート外側に設ける。
- ③ 招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種目	招集開始（点呼開始）時刻	招集完了（移動開始）時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	50分前	40分前
棒 高 跳	70分前	60分前

- ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、欠場と見なされ出場できない。
- ⑤ 競技者は、招集開始時刻にアスリートビブス・競技用靴のスパイクピン、競技場内で着用するウエアや持ち込むウエアや持ち込むバック類の商標ロゴ等の点検を受けて、そのまま待機し、招集完了時刻に競技役員の指示により移動する。代理人による最終点呼は認めない。
- ⑥ 小学生、中学生、高校生でリレー競技に出場するチームは、招集完了時刻1時間前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。（オーダー用紙は競技者係より受け取ること）
- ⑦ 欠場する競技者は欠場届を競技者係に事前に提出すること。（欠場届は巻末にあるものを使用すること）
- ⑧ 配布された腰ナンバー標識は左右両方にしっかりと貼り付けること。
- ⑨ 携帯電話等、競技規則TR6.3.2に関わる機器を持ち込んでないか確認を受ける。

3. 競技者受付とアスリートビブスについて

- ① 競技者受付は競技場内正面のエントランスホールとする。
- ② アスリートビブスは2枚配布する。（胸・背）
- ③ 練習会場である補助競技場への入場は、参加競技者、チームの監督・コーチ、大会関係者のみとする。入場する際は、IDカードを携行すること（小中学生競技者はリボン）。

4. 競技場内への入場について

- ① 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- ② 競技終了後は、競技役員の指示に従い、ミックスゾーンを通り退場する。なお、決勝において1～3位の競技者を、入賞者控え場所に誘導する。

5. 競技の抽選及び番組編成について

- ① トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順による。
- ② タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録がある場合は、写真判定主任が0.001秒単位の時間を判定して競技者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。

6. 競技について

(1) トラック競技について

- ① 男女100mは予選とA決勝・B決勝を実施する。男女200m、男子110mH、女子100mHはタイムレース決勝とする。
- ② 男女100mと男女200m、男110mH、女100mH並びに小中学生男女100mについては、風の条件によりバックストレートを使用することがある。競技開始時刻の1時間前に関係者で判断する。

- ③ バックストレートにて競技を実施した場合、ゴール後は競技役員の指示に従い退場すること。
- ④ 短距離種目は競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走る。

(2) フィールド競技について

- ① 跳躍の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が準備したもの、または承認したマーカーを2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークルの外側に使用することができる。
- ② フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。コーチングする場合は、コーチ席より行うことができる。（コーチ席以外でのコーチングは認められない）
- ③ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。（ただし、天候等の状況により変更することもある）

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8
男子走高跳	2m00	2m05	2m10	2m15	2m18	2m21	以降3cm 刻み		
女子走高跳	1m61	1m66	1m71	1m74	1m77	1m80	以降3cm 刻み		
男子棒高跳	5m00	5m10	5m20	5m30	5m40	5m50	以降10cm 刻み		
女子棒高跳	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	以降10cm 刻み		

*第1位決定を決める場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳で5cmとする。

- ④ ハンマーの検査は競技開始時刻の2時間前から1時間前まで、競技場正面のエントランスホールで受付ける。
- (3) 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。また、競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。
- (4) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない。（競技規則 TR25.19）
- (5) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

7. 結果発表と抗議について

- ① 各種目の結果発表は大型スクリーン及びアナウンスで行う。
- ② 発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内（同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内）に、競技者自身または代理人が、審判長に対して口頭で行い、控え室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で申し出る。

8. 表彰について

- ① グランプリ種目は3位まで表彰する。（A・B決勝がある場合はA決勝の3位まで表彰）
- ② 小学生、中学生、高校生の種目はすべて決勝3位まで表彰する。

9. ドーピングコントロールについて

- ① グランプリ種目参加選手のドーピングコントロールについては大会要項を参照のこと。

10. 一般注意事項

- ① 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。

② 更衣については、グランプリ種目、高校生種目出場の競技者の更衣室は、競技場内備え付き男女別の更衣室を利用すること。更衣室は更衣のみに使用し、更衣した物は置かないこと。小学生・中学生については、各チームのテント等で更衣すること。貴重品は各自で責任をもって管理すること。

③ グランプリ種目は、スタートした競技者の衣類をフィニッシュ付近まで運搬する。

④ 記録の掲示は行わない。各自アスリートランキングから確認すること。

アスリートランキングへのリンク ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒



11. 練習について

(1) 大会前日

① グランプリ種目出場者並びに高校生は 10:00~16:30 の間、本競技場を使用することができる。使用レーンは以下の通りとする。

1レーン：使用禁止

2~7レーン：スピード練習

8~9レーン：ハードル練習（110mH/100mH）

*バックストレートでのスタート練習は禁止。使用レーンを間違えないように十分注意すること。

② 男女走高跳は 13:00~16:00 の時間帯に A ゾーン（第1曲走路）で行うこと。

③ 棒高跳はバックストレート側ピットで行うこと 13:00~16:00（男女）

④ 正面ピットの練習時間は下記とする。

女子走幅跳 13:00~14:00 男子三段跳 13:00~16:00

⑤ 投擲種目は下記の時間帯にサークル又はピットで行うこと。

14:00~16:00（ハンマー投）、11:00~15:00（砲丸投）

⑥ 小中学生は 10:00~16:00 の時間帯に補助競技場で行うこと。使用レーンは以下の通りとする。練習時には必ず指導者又はチーム関係者が必ず帯同すること。（事故のないように十分注意すること）

1~2レーン：周回練習

3~6レーン：リレー練習

7~8レーン：スピード練習

尚、ミニハードルを設置しての練習はバックストレートのアウトレーンで実施すること。

(2) 大会当日 *フィールド種目のみ練習可能

① 本競技場での競技開始前の練習は、グランプリ種目参加選手のみとする。（7:30~8:30）

ア. ハンマー投はサークル内でのスイングのみ認める。

イ. 砲丸投の投てきも可。

② 補助競技場開門時刻7時30分。使用可能時刻は17時00分までとする。

*小中学生の補助競技場の使用は12:30までとする。それ以降はGP、高校生種目参加選手専用とする。（リレーの練習は声を掛け合い、事故が無いように十分注意すること。）

12. 個人情報の取扱い

① 主催者及び共催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

② 本大会はインターネットで動画配信を行う。

③ 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、共催者及び主催者、共催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット、SNS等の媒体に掲載することがある。